

# SDGs新聞

# 相鉄ホールディングス株式会社(相鉄グループ)

## 人生100年時代のハッピーまちづくり！

### SDGsラジオを讀んでみよう！

100歳まで生きるとしたら、みなさんはどんなまちで過ごしたいですか？

今は「人生100年時代」。長生きすることがめずらしくない時代です。

長い人生の中では、学校に通ったり、仕事をしたり、子育てをしたり、くらし方も変わっていきますよね。

だからこそ、その時々合った「自分らしくらし方」を選ぶことが大切で、今、「ウェルビーイング」という考え方が注目されています。

ウェルビーイングとは、体も心も健康で、毎日をワクワク、楽しくすごせている状態のことです。

鉄道やまちづくりの会社「相鉄グループ」は、このウェルビーイングを支えるまちづくりに力を入れています。

地球にやさしく、地域の農業や自然も大切に、デジタルの力も使って、

みんなが幸せにくらせる未来のまちをつくるために、いろいろなことをしています。

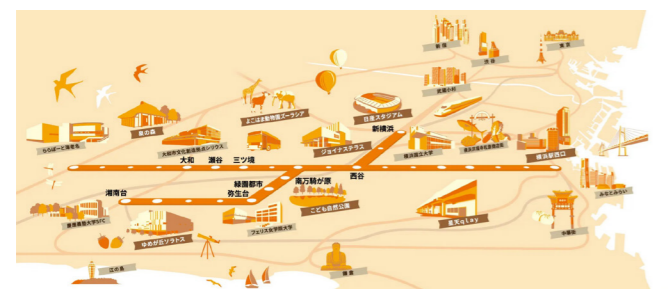
みなさんにとって「幸せにくらせるまち」とはどんなまちですか？いっしょに考えてみましょう。

### SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：ウェルビーイングのイメージ

「人生100年時代」といわれる今、長生きはふつうのことになってきています。長い人生の中で、子どもの頃は学校に通ったり、大人になって仕事をしたり、結婚をして子育てをしたりと、私たちの生活は変わっていきます。住む場所も変わっていくかもしれません。そこで大切になるのが「ウェルビーイング」という考え方です。ウェルビーイングとは、体が健康だけでなく、心も元気で、毎日を自分らしく、いきいきとくらせていることをいいます。そこで、鉄道やまちづくりの会社「相鉄グループ」は、年齢やくらし方がちがう人々みんなが毎日幸せにくらせるように、鉄道の駅のまわりを中心にまちづくりを進めています。地域のよさを生かしながら、くらしを支えるさまざまな取り組みを進めることで、だれもがくらしやすいまちをめざしています。



画像参照：相鉄グループの沿線のまち(相鉄グループ公式HPより)

相鉄グループのまちづくりでは、さまざまなことに取り組んでいます。たとえば、沿線に広がる農地や自然を大切に、地域の人々と協力しながらまちづくりを行っています。また、アプリやデータなどデジタルの力を使って、買い物や移動をより便利にしたり、一人ひとりに合った情報を届けたりしています。さらに、太陽の光からエネルギーをつくり、二酸化炭素を出す量を減らす工夫をしたりして、未来の地球のことも考えたまちづくりを行っています。ほかにも、子育てを支える環境づくりや、地域の病院などと力を合わせて健康を支えるしくみづくりにも取り組んでいます。こうしたさまざまな工夫をかさねながら、年齢やくらし方が変わっても安心して、だれもがいきいきと幸せにすこせる未来のためのまちづくりを進めています。

### キーワード

#### 人生100年時代

医療や技術の進歩やくらしの環境がよくなったことで、人が100年近く生きることがめずらしくなくなった時代のことです。

#### デジタル

コンピューターやインターネットなどを使って、情報を集めたり、整理したり、つなげたりする技術のことです。

#### クリーンなエネルギー

つくるときやつかうときに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をあまり出さないエネルギーのことです。太陽の光や風の力などがあります。

### 対象ゴール



### みなさんにできること！

「幸せにくらせるまち」とはどんなまちでしょうか？考えてみましょう。

#### おさらい

- 体も心も健康で、毎日を楽しみながら過ごしている状態のことを「ウェルビーイング」という。
- 相鉄グループは、ウェルビーイングを大切にしながらまちづくりを進めている。
- 相鉄グループはさまざまな取り組みをして、みんなが幸せにくらせる未来のためにまちづくりをしている。

### メモ



SDGs ラジオ